

第3学年道徳学習指導案

平成30年10月23日(火) 第5校時
四万十市立東中筋中学校 第3学年12名
授業者 三石裕子

- 1 主題名 新しいものを生み出す A(5) 真理の探究、創造
- 2 ねらい 新種のぶどうづくりに挑む主人公の思いを考えるを通して、理想を追求して新しいものを創造しようとする道徳的実践意欲を養う。
- 3 教材名 「ルビーロマン」(出典:「自分をのばす」廣済堂あかつき)

4 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の考え方

創造とは、新しいものを生み出そうとすることである。模倣によらずに新しいものを生み出すことは容易にできることではない。独自の考えに基づいて物事を創り出そうという強い気持ち、好奇心や疑問をもち考え続ける粘り強さ、これまでにないことを思い浮かべる想像力、従来の思考の道筋から離れる柔軟性など、様々な要素が求められる。このような新しい物事を考えたり創り出そうとしたりという発想は、単に「発明」を生み出すだけでなく、生徒がよりよく生きようとする意欲にも通じるものであることに気づかせたいと思い、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態と教師の願い

本学級の生徒は真面目で、指示されたことや課題に対して協力して前向きに取り組むことができる。また、縦割り班の活動や学校行事などでは、最上級生として先頭に立って1、2年生をリードしてきた。どの活動でも、仲間と協力して創意工夫しながら物事を進めていく力をもっている一方、自分のこととなると現状にとどまりがちで、一步前に踏み出し新たなことに挑戦しようとする意欲は高いとは言えない。小規模校ゆえに刺激が少ないことや、情報化社会の中で生きてはいるものの自分の世界の広がりにつながる情報を捉えられないことなどが要因として考えられる。

生徒が将来、より充実した人生を送るためにも、さまざまなことに関心をもち、探究心をもって新しいことに挑戦していくことよさに気づかせることで、生徒自身のよりよい生き方とつながるように考えさせたい。

(3) 使用する教材の特質及び生徒の実態とかかわらせた指導の方策

この教材は、新たなぶどうの品種として開発された「ルビーロマン」の開発ドキュメントであり、新たな物事を創り出す際に伴う、地道だが省略できない過程が描かれている。新しいことに取り組むとき、性急に結論を求めるあまり、成果が出ないとすぐにあきらめたり、一面的な見方に捉われ他の見方や意見を受け入れられなかったり、情報の真実を確かめず簡単に信じてしまったり、ということがある。授業では、まず、主人公が直面した様々な困難について、自分の体験を重ね合わせて考えることで、物事がいつも順調に思い通りに進むものではないことを実感させ、中心発問では、多くの困難にもかかわらず、あきらめることなく開発を続けた主人公を支えた思いについて、様々な角度から考えさせる。それを受けて、展開後段では自分の生活を切り拓いていくときに参考にできることを考えさせ、自分の生活に生かそうとする意欲をもたせたい。

5 本時で期待する生徒の姿

[授業前の生徒の考え方]

→

[授業を通して高めたい生徒の考え方]

・特に困ることもないので今のままでいい。
・新しいことを始めるのは面倒くさい。
・何をどうしていいかわからない。

→

・よりよい生き方を目指して、新しいことにも、臆することなく挑戦していきたい。

6 準備物 ワークシート・掲示物・付箋

7 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 ◎中心発問	指導上の留意点
導入	1 本時の内容を想起させる。	○どんな言葉が入ると思いますか。 「成功した人は、人より倍も3倍も()している。」 (大村智博士・ノーベル医学生理学賞受賞)	
展開	2 教材を読み考える。 (1) 主人公が直面した問題について捉える。 (2) 開発を続けた主人公を支えていた思いを考える。 (3) 自分の生活と重ねて考える。	○教材を読んで、高松さんや主人公が品種開発する中でどんなことが大変だと思いましたか。 ・問題が多い。(色、実、気候 など) ・誰からも賛成されない。孤独。 ・前例がない。 ・時間、手間がかかる。 ・失敗の連続。できるかどうか分からない。 (補助) 未知のものに挑戦するとき、自分ならどれが一番ダメージを受けるだろう。 ◎品種改良に取り組む9年の歳月の中、どういう思いが主人公を支えていたのでしょうか。 ・自分が石川の農業を変えてやる。 ・誰も作ったことのないぶどうを作りたい。 ・農家の期待に応えたい。 ・高松さんの夢を叶えたい。 ・どんなに歳月がかかっても、やり遂げたい。 ・いつかは必ず成功する。 ・したことは無駄にはならない。 ○自分の生活や将来を切り拓いていくとき、参考にできることはどんなことですか。 ・あきらめないこと。 ・根気強く続けること。 ・工夫や試行錯誤してみることに。 ・希望をもつこと。前向きになること。	・新しいことに取り組む際の困難を確認する。 ・二人の心境も考えさせる。 ・自分の体験と重ね合わせて考えさせる。 ・創造を支えるものについて多面的・多角的に考えさせる。 ・自分ごととして考え、これからの生活に生かそうとする意欲をもたせる。
終末	3 まとめ	○この時間に感じたこと、考えたことを書こう。	

〔評価の主な視点〕 困難があっても、自分の理想を追求し新しいものを創造していこうとする意欲の見られる発言や記述がある。

8 板書計画

「成功した人は、人より倍も三倍も（ ）している」

ルビーロマン

ブドウ農家（大粒・宝石のような赤いぶどう）
←
高松さん（ノート・転勤）
←
主人公（開発研究を引き継ぐ）



9年間

《困難》

- ・問題が多い。前例がない。
- ・賛成されない。孤独。
- ・時間。手間。失敗。
- ・できるかどうか。

新たなものを生み出す
新しいことを始める

- ・あきらめない
- ・根気
- ・工夫 試行錯誤
- ・希望 前向き



ルビーロマン

私を支えていた思い

- ・石川の農業を変える。
- ・農家や高松さんの期待に応える。
- ・新しいぶどうを作りたい。
- ・いつかは必ず成功する。
- ・したことは無駄にならない。
- ・歳月がかかってもやり遂げる。

9 他の教育活動との関連

